

## 愛知県医療圏保健医療計画(案)のポイント

- 愛知県地域保健医療計画に加え、2次医療圏ごとの医療圏保健医療計画を別冊として策定します。

## 名古屋・尾張中部医療圏

## (精神保健医療対策)

○向精神薬の副作用として口腔乾燥を生じ易いことから、口腔障害の誘発因子となるため、歯科医療機関との連携が必要である旨を記載。

## (救急医療対策)

○五条川リハビリテーション病院とはるひ呼吸器病院が救急告示病院に追加されたことについて記載。

## (周産期医療対策)

○名古屋市域において、産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図るため、産婦健康診査の実施を通じて、連携体制の整備を進めることについて記載。

## (在宅医療対策)

○在宅医療・介護連携支援センターの設置、かかりつけ医をバックアップする体制の構築などを内容とする在宅医療・介護連携推進事業、在宅医療体制の整備の取り組みについて記載。

○平成28(2016)年度から、多職種間で在宅医療患者の情報をオンタイムで共有する、尾張中部地域における在宅医療連携システムが稼働し始めたことを記載。

## 海部医療圏

## (歯科保健医療対策)

○後期高齢者の口腔機能向上を目的とした歯周病検診及びがん患者等の周術期の口腔管理にあたっての病診連携の必要性について記載。

## (災害医療対策)

○災害発生時の当医療圏における被害を想定した場合、外部からの応援を受けることが予想されるため、受援体制の整備の必要性について記載。

## (病診連携等推進対策)

○厚生連海南病院が地域医療支援病院に指定されたことから、医療圏全体で地域医療支援病院等を中心に病診連携システムの整備に努めることを記載。

## (高齢者保健医療福祉対策)

○かかりつけ医や認知症サポート医の役割について記載するとともに、当医療圏の公的3病院について認知症対応力向上事業実施病院としての医療従事者の認知症理解向上の取組について記載。

## 尾張東部医療圏

## (災害医療対策)

○災害拠点病院以外の病院においても業務継続計画の作成・検証等の防災対策の充実を図る旨を記載。

## (在宅医療対策)

○人生の最終段階における医療の提供の在り方について、患者、家族、医療関係者があらかじめ検討する必要性について啓発していく旨を記載。

## (高齢者保健医療福祉対策)

○高齢者の生活の質の向上を図るため、保健・医療・福祉関係者と地域住民が一体となって、高齢期における健康的な食生活の支援、歯科保健対策の推進、認知症の予防や認知症患者への支援、高齢

## 尾張西部医療圏

## (がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患対策)

○在宅医療の場合は、多職種で連携して対応するため、体系図の表記を修正。

## (糖尿病対策)

○ヘモグロビンA1cの値について国際比較ができる値に修正し、初期治療、重症化・合併症・急性増悪時治療及び安定期治療に区分した体系図へ修正。

## (救急医療対策)

○稲沢市民病院において、一宮市立市民病院との連携強化のための連携支援病床50床が平成26(2014)年度に整備された旨を記載。

## 尾張北部医療圏

## (脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病対策)

○医療圏の状況を具体的に示すために、EBSMR(標準化死亡比)や特定健診の結果を記載。

## (精神保健医療対策)

○当圏内には県心身障害者コロニー中央病院や、県発達障害者支援センター等、専門性の高い機関があることに注目し、これをメリットとして生かせる体制作りについて記載。

## (歯科保健医療対策)

○ライフステージを踏まえた対策として、胎児期から対策に取り組むことの必要性及び歯周病対策は若い世代から取り組みが有効なことから職域への働きかけについて記載。

## (病診連携等推進対策)

○病診連携の具体的対応状況について、尾張北部医療圏の基幹的病院(春日井市民病院、小牧市民病院及び厚生連江南厚生病院)と地域の医療機関との連携が強化・推進されていることについて記載。

## 知多半島医療圏

(救急医療対策)

○東海市民病院と知多市民病院を統合して公立西知多総合病院が開設されたことを記載。

(災害医療対策)

○知多半島医療圏災害連携会議が開催され病院間の連携が深まっている一方、当圏域内の5市5町では、災害発生時に備えて「知多地域災害時相互応援協定」を締結した旨を記載。

(周産期、小児医療対策)

○県あいち小児医療センターは、先天異常胎児に対する周産期部門を整備した旨、また、小児集中治療室(PICU)16床を有する救急棟を整備し小児救命救急センターに指定された旨を記載。

(病診連携等推進対策)

○市立半田病院、公立西知多総合病院及び常滑市民病院の電子カルテの診療情報の共有など、ICT(情報通信技術)を活用した知多半島医療連携ネットワークを平成29(2017)年2月から運用し、地域の医療連携を推進している旨を記載。

(健康危機管理対策)

○新たに、特定感染症指定医療機関として常滑市民病院に感染症病床を2床、公立西知多総合病院に結核モデル病床を10床設置したことを記載。

## 西三河北部医療圏

(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、周産期医療、小児医療対策)

○EBSMR(標準化死亡比)、入院医療機関住所別患者数等の表を採用し、詳細に記載。

(精神保健医療対策)

○アルコール関連問題での連携の取組みとして、保健所が作成した「アルコール健康障害救急医療連携マニュアル」について記載。

(高齢者保健医療福祉対策)

○地域支援事業、認知症対策、高齢化の進展に伴う疾病等に関し記載。

## 西三河南部東医療圏

(がん対策)

○地域のがん医療提供体制の充実強化等のため、県がんセンター愛知病院と岡崎市民病院を一体的に病院運営することが望ましいことから、岡崎市への移管に向けた協議を進めている旨を記載。

(救急医療対策)

○平成32年の藤田保健衛生大学岡崎医療センターの開設に伴い、24時間365日救急患者の受入を行うことを踏まえた救急医療体制の見直しが必要になる旨を記載。

(災害医療対策)

○「西三河南部東医療圏医療救護活動体系図 急性期～亜急性期」を市町とともに作成し掲載。

また、県が作成した災害関係のマニュアル等を紹介するページを追加。

(小児医療対策)

○平成29(2017)年4月に開設した「岡崎市こども発達センター」に関する内容を記載。

(在宅医療対策)

○県の補助事業として平成29年度まで実施された在宅医療サポートセンター事業は、在宅医療の充実強化という趣旨を引き継ぎ、岡崎市と幸田町が平成30年度以降も岡崎市医師会に設置する予定である旨を記載。

## 西三河南部西医療圏

(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、周産期医療、小児医療対策)

○EBSMR(標準化死亡比)、入院医療機関住所別患者数等の表を採用し、詳細に記載。

(精神保健医療対策)

○アルコール関連問題での連携の取組みとして、保健所が作成した「アルコール健康障害救急医療連携マニュアル」について記載。

(災害医療対策)

○医療機関の取組みとして、医療圏内の4医師会・5病院間で交わされた災害時の広域連携に関する覚書について記載。

(高齢者保健医療福祉対策)

○地域支援事業、認知症対策、高齢化の進展に伴う疾病等に関する記載を追加。

### 東三河北部医療圏

(精神保健医療対策)

- 当圏域内に精神障害に対応できる精神科専門医が1人しかいないため、近隣圏域に頼っている状況と精神科医療の確保の必要性を記載。

(救急医療対策)

- 医療圏内で受入できない患者を他医療圏へ搬送する際、当医療圏は面積が広大であり山間地が多く、ドクターヘリが重要な移動手段であるため、ドクターヘリの要請件数の表を記載。

(高齢者保健医療福祉対策)

- 東三河地域の8市町村(豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村)では、高齢者が地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、介護保険の保険者を「東三河広域連合」として平成30(2018)年度から統合する旨を記載。

### 東三河南部医療圏

(周産期医療対策)

- NICU(新生児特定集中治療室)等の後方支援病床の機能を持つ施設として、豊川市内の信愛医療療育センター(医療型障害児入所施設)を追加。

(在宅医療対策)

- 在宅医療・介護連携における切れ目ない在宅医療提供体制の構築、在宅医療に関する相談窓口の充実及び関係機関相互の情報交換を図る場の設置の必要性を記載。

(高齢者保健医療福祉対策)

- 東三河地域の8市町村(豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・設楽町・東栄町・豊根村)では、高齢者が地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、介護保険の保険者を「東三河広域連合」として平成30(2018)年度から統合する旨を記載。